

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS半田校			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 11日		～	2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 11日		～	2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様が楽しく安心して利用して頂いていること ・事業所の環境や体制整備で高い評価を頂いていること	・お子様の安心感をしっかりと築いていくことができるように指導員と楽しい雰囲気の中で身体を動かし、関係づくりをしています。 ・お子様のやりたい・楽しい気持ちを大切に意欲的に取り組むことができるように支援プログラムを立案しています。 ・毎日、清掃と消毒を行い、定期的に点検を行う中で安全に利用して頂けるように努めています。	・ご家族の皆様にも安心して利用して頂けるように支援終了後には担当指導員よりお子様の様子や発達に必要な情報をお伝えし、ご家族様との関係づくりも大切にしています。また、お困りごと等がある時は面談等を行い、家族支援もしています。 ・ヒヤリハット集を作成し、職員間で共有する中で対策と改善を速やかに行っています。
2	・原始反射の統合に向けた専門的運動療育が受けられること ・1対1の個別療育で発達段階に合わせた支援を受けられること	・職員は全て、本部にてS.I.C.KIDSオリジナルの基礎研修を受講してからお子様の支援に関わっています。 ・毎日の支援記録を作成し、お子様ひとりひとりの発達段階を職員間で情報共有し、支援に繋がっています。 ・お子様・ご家族様のニーズや要望を分析し、お子様の発達段階に合わせて、プログラムを立案しています。	・職員のスキル向上に向けた研修や勉強会に積極的に参加し、支援に繋がっています。
3	・ご家族様との関係づくりも大切にしていること	・トレーニング終了後にお子様の様子をお伝えしたり、園やご家庭での様子、お困りごと等をお聞きして情報共有しています。また、ご家族様のご要望をお聞きして、面談を行い、家族支援も行っています。 ・支援の様子だけでなく、事業所を利用するにあたってのご説明等は詳しく丁寧に説明することを心掛けています。	・ご家族様からも話しやすい環境作りを目指して、職員から保護者様にお声がけして、お話する時間を作っています。 ・ご質問を頂いた際には、早急に対応できるように努めております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会やペアレントトレーニング等の勉強会を開催することができていないこと	・トレーニング中はお子様が集中心で取り組むことができるように保護者様の入室はお断りしています。トレーニング終了後や連絡帳で日々の様子をお伝えして、情報共有は行っていますが、見える化ができていないと思います。	・お子様がどのように過ごしているのか等を見える化できるように保護者会や勉強会を通して、お子様が取り組んでいるトレーニング内容を知る機会を作りたいと思います。 ・保護者様同士の交流の機会を作り、ご家族様への支援も強化していきたいと思います。
2	・地域交流を行うことができていないこと	・1対1の個別療育の為、事業所内を出て活動する機会がないです。	・中学生や高校生の職場体験を通して、事業所のことを地域の方に知ってもらい、インクルーシブに基づいた取り組みに繋がっていくことができるようにしていきたいと思います。
3	・非常時等の対応について、事業所での取り組みを周知してもらおうことができていないこと	・SNS等で活動内容を発信したり、チラシを配布したりはしていますが、マニュアル等は待合室に置いてあるだけになってしまっています。	・置いておくだけでなく、声掛けをしたり、発信の仕方を考え、もっと周知していくことができるように努めていきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	S.I.C.KIDS半田校
------	---------------

公表日 2025年 3月 10日

利用児童数 9名 回収数 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1		1	・トレーニングルームでの活動を見たことがない為、分からない。	・トレーニング時はお子様が集中して活動に取り組んでももらえるように保護者様の入室はご遠慮頂いております。同じ時間帯に最大3名のお子様が入室し、活動スペースは一人ひとりのお子様に思い切り身体を動かして頂くことができるぐらいの広さがございます。支援室の広さは事業所の魅力の一つでもあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					・法に基づき、有資格者を配置しております。 ・間違い等がないか職員間で確認を行い、二重チェックも行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					・絵カードやタイムタイマー等を活用して、特性に応じた配慮を心掛けております。入口に段差があり、スロープがない為、個々に応じて考慮し、対応していきたいと思ひます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1				・毎日、清潔に保てるように清掃を行い、時間ごとに支援室の換気と教具の消毒を行っております。更に安全面に配慮し、支援室や教具の安全点検を週に1度行っております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				・保護者様と面談する中でニーズ等を把握し、計画を立てています。 ・スモールステップで目標を設定し、利用者様が安心して楽しく通って頂く中で達成感に繋げていくことができるように心がけております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			2		・支援プログラムはホームページに掲載して公表しております。事業所内にも掲示して周知してまいりたいと思ひます。 ・原始反射の残存の影響によって起こり得る困りごとを改善するための運動療育プログラムを主に提供しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1				・半年に1度、保護者様と面談や送迎時に情報共有をさせて頂いております。また日々、トレーニング記録を作成しております。その中でニーズや課題を把握し、分析してスモールステップで個別支援計画の作成を行っております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					・ガイドラインを基にお子様・保護者様のニーズ等を把握し、分析を行っていく中でスモールステップで目標・支援内容の設定を行っております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1		1		・児童発達支援計画と毎回の支援記録を基に職員間でお子様の情報共有を行い、指導員がお子様に必要な支援プログラムを考え、自主性を大切にしながら支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6			1		・お子様の姿を様々な指導員の視点から気づくことができるように、毎回、担当指導員をかえて支援を行っております。その中で支援の方向性は職員間で共有し、数あるトレーニングからプログラムが固定化しないようお子様の様子を見て工夫をしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		2	1		・現在、通われているお子様は保育所や幼稚園、こども園、療育園に通園しながら並行してご利用頂いております。事業所では個別療育の為、交流や活動を共にする機会はないのですが、同じ時間帯でご利用のお子様同士の交流があります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					・体験時や契約時に保護者様と面談させて頂き、ご説明させて頂いております。ご不明な点等がございましたら、いつでもご質問下さい。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	1				・利用開始時と半年後の計画更新時に保護者様にお時間を頂き、児童発達支援計画をご覧頂きながら説明をさせて頂いております。ご不明な点等がございましたら、いつでもご質問下さい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1		1	・参加したことはない。	・S.I.C.KIDSご利用の保護者様向けセミナーやファミフェス等を開催しております。今後も様々な企画・開催を行い、ご案内できるようにしていきたいと思ひます。皆様のご参加、お待ちしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5			1		・送迎時にご家庭や園での様子をお聞きしたり、トレーニング終了後や連絡帳でお子様の様子やトレーニング内容をお伝えして、情報共有を行っております。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		2		・利用時に保護者様と情報共有させて頂く中でご相談事やお困りごとに関して、助言をさせて頂いたり、家族支援や関係機関連携をさせて頂き、面談を行っております。お困りごと等ございましたら、いつでもご相談下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1			・お子様の自己肯定感に繋げていくことができるように、できた体験を沢山経験してもらい、できた・頑張った喜びや満足感を保護者様にもお伝えして、共に成長を喜び合い、支援することを大切に関わらせて頂いております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		2	3	・S.I.C.KIDS半田校主催で講師を招いての講演会と保護者様同士の交流会の二部制のコミュニティ座談会を開催しました。今後も様々な企画・開催を行い、皆様にご案内できるようにしていきたいと思います。ご希望等ございましたら、職員までお声がけください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			2	・児童発達支援計画に相談支援について記載し、ご説明させて頂いておりますが、より相談しやすい環境の整備と相談できる場があることを皆様に広く周知していくことが課題と考えております。事業所側からもお声がけさせて頂き、相談しやすい環境に努めてまいりたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1		1	・送迎時や連絡ツールで保護者様と連携を取らせて頂き、情報伝達を行っております。また、利用時に事業所側からお声がけさせて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7				・Instagramやブログにて活動概要や行事予定を発信しております。自己評価の結果についてはS.I.C.KIDSのホームページの事業所一覧より、S.I.C.KIDS半田校の最下部「評価表」よりご覧頂くことができます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1		2	・契約時の書類や個人情報記録等は鍵付きの書庫で保管をしています。今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		1	・各種マニュアルは待合室にファイルにまとめて設置させて頂いております。皆様に周知して頂けるように今後もしっかりと説明してまいりたいと思います。 ・訓練は定期的に行い、Instagramやブログにて発信もさせて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			3	・定期的に避難訓練等を行っております。利用者様にも参加して頂く際には事前に皆様に連絡ツールで周知させて頂き、訓練の様子もInstagramやブログにて発信させて頂いております。今後も様々な状況を想定し、訓練を行っていききたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	・安全計画を作成し、定期的に安全点検や訓練を行っております。また、安全確認を行いながら、支援をしています。今後も反省点等を見直しながら安全の確保をしっかりと行い、支援していきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			3	・事故や怪我が発生した場合は、お子様の安全確認と状況確認を行い、速やかに処置と保護者様へご連絡をさせて頂いております。今後も安全面に配慮しながら安心して利用して頂けるように、また、速やかに対応できるように努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7				・ひとりひとりのお子様ができる場所となることを日々、大切にして支援しております。今後もお子様・保護者様が安心して利用して頂くことができるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				・皆様から「楽しく通うことができています！」と嬉しいお声を頂いております。お子様が元気に笑顔で来てくれる姿を私たち、職員も嬉しく思います。今後も楽しく身体を動かして、気持ちもリフレッシュしながら過ごすことができるように関わっていききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				・今後もお子様の自己肯定感を高めながら、たくさんのできた体験や様々な経験を通して成長や発達に繋げていくことができるように微力ではございますがお手伝いさせて頂けたらと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名			公表日			
S.I.C.KIDS半田校			2025年 3月 10日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・トレーニングの状況を見ながら、お子様の安全確保と指導員同士で声を掛け合い、一人ひとりのお子様が安全に楽しく身体を動かすことができるように環境整備を行っています。	・今後も安全確認をしっかりと行い、危険な環境等があった場合は職員間で共有し、改善に向けて早急に対策を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・一人のお子様に対して、一人の指導員が付き、1対1の個別療育を行っています。お子様の特性に応じて二人の指導員が付き、支援することもあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・絵・写真・文字・タイムタイマー等を活用して視覚支援を取り入れています。 ・安全に身体を動かせるように教具等の配置にも気を付け、環境整備を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日の清掃と消毒、週に1回の教具点検を実施し、清潔で安全な生活空間作りに気を付けています。 ・子どもたちの動きに合わせて、教具の配置を考え、環境作りを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・気持ちが崩れて痙攣になった時や静かな環境から少しずつ慣れていく時、体調不良の時等にミーティングルームやパーテーションを使用する等して落ち着ける環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・毎日の支援記録を取り、ミーティングでお子様の様子を職員間で情報共有し、支援に繋げています。 更にモニタリング時には個別支援計画に基づき、職員一人ひとりの視点からお子様の姿を振り返り、情報共有を行い、次の課題や目標設定に繋げています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・R6年4月に開所した為、今年度初めて保護者向け評価表を実施しました。	・保護者様のご意見を参考に今後、業務改善に努め、安心して利用頂けるようにしていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・意見等がある場合は管理者に伝え、職員間で話し合う機会を作り、相談して業務改善に繋げています。	・意見等を把握する機会が職員から出てきた時に話し合っているので、定期的に意見等を把握する機会を作り、一人ひとりが話やすい環境を整えていきたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		・第三者による外部評価は行っておりません。今後、検討して必要に応じて行っていけたらと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・本部主催の年次研修や市町主催等の研修に定期的に参加しています。	・今後も職員の資質向上に向けて、様々な研修に参加していきたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・支援プログラムは個別で作成し、連絡帳にて保護者様に公表しています。更に送迎時に口頭でもお伝えしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントシートや日常チェックリストの使用、お子様の反射チェック、保護者様との面談を行っています。その中でニーズや課題を客観的に分析し、スモールステップで児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・個別支援会議でご家族・ご本人のニーズや課題を情報共有し、職員が共通理解の下で一人ひとりに合わせた支援を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・児童発達支援計画を基に、一人ひとりのお子様に合わせて支援プログラムを立て支援しています。 ・日々の記録を取り、振り返りも大切にしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・事業所独自のインフォーマルなアセスメントシートを活用し、行っております。標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは保護者様や相談支援員等の関係機関から提供頂き、確認を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・ガイドラインを基にお子様・保護者様のニーズ等を把握し、分析を行っていく中でスモールステップで目標・支援内容の設定を行っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・個別療育の為、日々の活動プログラムは担当指導員が立案しているが、お子様の姿や成長発達を職員間で共通理解した上で日々の記録も参考にしながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・お子様の姿や成長発達に合わせたプログラムを考え、お子様のやりたいプログラムから、より楽しめるように活動中に臨機応変にプログラムに変化を付けて支援しています。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		・個別療育の為、個々での活動が中心となります。お子様の姿や成長発達に合わせて友だちと関わることに興味を持ったり、楽しさを感じている姿から同じ時間帯で利用しているお子様との関わりもごございます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・毎朝ミーティングを行い、その日の連絡事項や支援について職員間で情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・毎日、支援終了後にミーティングを行い、連絡事項や支援の振り返りを行い、職員間で情報共有を行っています。	・支援終了後はミーティングの時間が限られているので振り返りの時間をもう少し時間を掛けてできるように打ち合わせの機会を作っていきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・個別ファイルに一人ひとりの毎日の支援記録をとっています。 ・児童発達支援計画での支援だけでなく、日々の関わりの中で気付いた育ちや行動・姿に対して支援方法を話し合い、改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・半年に1度、モニタリングを行っています。事前に職員間でお子様の育ち等の今の姿に対して情報共有を行い、保護者様と面談を通して課題やニーズを分析しものを踏まえ、児童発達支援計画の見直しを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・情報共有の為、事前に日々の記録を確認したり、職員間で振り返りを行った上で関係機関との連携は児童発達支援管理責任者が参画しています。	・今までサービス担当者会議が開催されたことがありません。園や他事業所での様子等、関係機関と連携を取っていくことは大切だと思うので、より連携を図れるように努めていきたいと思います。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・保護者様や相談支援員さんを通して関係機関からの情報を共有して頂き、支援に繋がっています。	・関係機関との連携がまだ薄いので、様々な関係機関とより深く連携を図れるように努めていきたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・保護者様の意向をお聞きしながら、相談支援員さんを通して並行利用や移行に向けた支援を行っています。	・現在、幼稚園・保育園・療育園と並行してご利用頂いている方が多いです。今後も保護者様の意向をお聞きしながら、関係機関と連携を図っていけるように努めていきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・相談支援員さんを通して情報共有と相互理解を図っています。	・保護者様も学校と事業所が連携を図れることをご存じない方も多いのかなと思います。こちらから連携を図れることを周知し、保護者様の意向をお聞きしながら安心して就学移行に繋がっていくことができるように努めていけたらと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	2	2	・相談支援員さんを通して連携を図っています。	・児童発達支援センターと連携を図ることはできていないです。研修等に参加する中で交流を深め、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けていけるようにしていきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・利用して頂いている方多くが幼稚園や保育園、こども園、療育園と並行利用されている中で地域の他のお子様と活動されています。	・個別療育の為、交流や活動を共にする機会はないのですが、同じ時間帯でご利用のお子様同士の交流があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・トレーニング終了後には支援の振り返りを行い、保護者様にお子様の様子をお伝えしています。またお困りごとや相談事を職員間で情報共有して、一緒に関わり方を考え、支援に繋がっています。モニタリングでは、お子様の育ちや成長発達を情報共有し、ニーズや課題の整理・分析を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・支援終了後の振り返りでご家庭でできるトレーニング等をお伝えすることもあります。 ・本部主催・協賛のイベントをご案内しています。	・半田校主催の家族支援プログラムは実施する機会が少なかったです。今後は様々な企画を用意し、開催してご案内できるようにしていきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・体験時や契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・面談にてお子様やご家族様のニーズや課題・お困りごとをお聞きしています。 ・児童発達支援計画を作成する際にスモールステップでお子様が意欲的に楽しく取り組むことができる観点を踏まえて作成し、個別支援計画案の時点で再度、ご家族様に確認をして頂いています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・個別支援計画を提示しながら説明を行い、保護者様の意向を確認して同意を頂いています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・ご家族様からご相談を受けた際は保護者様の意向をお聞きしながら面談を行い、助言をさせて頂いたり、一緒に支援を考え、関わらせて頂いています。	・相談できるということをご存じない方も多くいらっしゃるように思われます。こちらからお声がけしてお話ししたり、相談できることを周知していく中でお子様もご家族様も安心して利用して頂けるように努めていきたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・半田校主催で一度、コミュニティ座談会を開催し、保護者様同士・保護者様と職員の交流会をすることができました。	・今後も様々な交流する機会を作り、支援に繋げていきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・児童発達支援計画に相談支援について記載し、ご説明させて頂いております。 ・お子様やご家族様から相談の申し入れがあった際は速やかに面談の日程調整を行っています。	・より相談しやすい環境の整備と相談できる場があることを皆様に広く周知していくことが課題と考えております。こちらからお声がけさせて頂き、相談しやすい環境づくりに努めていきたいと思います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・定期的にInstagramやリタリコ 블로그を活用して活動概要や行事予定を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・契約時の書類や個人記録等は鍵付きの書庫で保管をしています。今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・視覚支援も活用して支援しています。 ・連絡ツール等を利用して情報伝達しています。	・お子様ひとりひとりの姿や成長発達に合わせて、支援に繋げていきたいと思います。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・地域で開催されている他機関連携会議に参加し、地域での活動や地域に開かれた事業運営の概要を知ることができました。学んだことを参考に今後、活かしていけたらと思います。	・地域住民を招待する等のイベントや行事を実施することはできていません。今後、保護者様の意向をお聞きしながら地域交流に繋がる支援も検討していけたらと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・各種マニュアルを策定し、待合室に設置して皆様に周知しています。また発生を想定した訓練も定期的に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・BCPを策定し、臨機応変に対応できるように様々な状況を想定した訓練を定期的に行っています。訓練後には職員間で振り返りを行い、連携の仕方を共有するようにしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・体験時や契約時に確認をしています。	・今後もその都度、懇談等で再度、確認を行い、安全面に配慮しながら支援していきたいと思います。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・体験時や契約時に食物アレルギーの有無に関して保護者様に確認をしています。	・おやつ等の食べ物の提供はしていない為、医師の指示書に基づく対応はしておりません。お子様の特性を理解し、保護者様に確認を取りながら安全に配慮して支援を行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を作成しています。定期的に教員点検や支援室の点検・訓練を行い、安全管理に気を付けて支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・訓練や研修の内容をチラシで配布したり、連絡ツール等で周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・事故や怪我に繋がるヒヤリハットはヒヤリハット集を作成し、職員間で共有しています。再発防止に向け、対策も考え速やかに対応しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・定期的に委員会を開催し、職員間で情報共有を行っています。 ・定期的に研修機会を確保したり、職員間でもストレスチェック等を行い、虐待防止に繋げています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・定期的に委員会を開催し、職員間で情報共有を行う中で身体拘束を行なわなければならないか検討しています。 ・身体拘束を行う場合にはお子様や保護者様に説明を行い、同意を得た上で児童発達支援計画に記載しています。	